

授業科目 NO. 613 国際看護学

Global Nursing

授 業 の 形 態 : 講義

単位数 (時間数) : 1 単位 (15 時間)

開講年次・学期 : 4 年次・前後期

必修・選択の別 : 必修

キ ー ワ ー ド : グローバルヘルス、異文化看護、国際協力機関、在日外国人の看護、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ

1 金沢医科大学看護学部への到達目標 (全科目共通です)

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

2 学 習 目 標

1) 一般目標 (GIO)

グローバル・ヘルスにおける健康問題に対して国際社会全体の保健・環境衛生活動、国際協力機関の役割を説明できる。その上で、国内外の保健・医療・福祉の現状について主体的に情報収集を行い、国際的視野に基づいて看護職の役割を探究する。さらに、国内の外国人患者への医療提供体制の現状と課題を理解し、多様な文化・習慣・言語・価値観を持つ対象を尊重して看護を実践する能力を修得する。

2) 行動目標 (SBO) ※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部への到達目標との関連を示す。

- (1) グローバル・ヘルスにおける健康問題を説明できる。 (①⑤)
- (2) 国際社会の保健・環境衛生への取り組みを説明できる。 (①⑤)
- (3) 国際協力機関の役割を説明できる。 (①⑤)
- (4) 諸外国の保健医療システムと看護職の課題、ユニバーサルヘルスカバレッジを踏まえた取り組みを説明できる。 (①⑤)
- (4) 国内の外国人患者への医療提供体制の現状と課題を説明できる。 (①⑤)
- (5) 多様な文化・習慣・言語・価値観を持つ対象を尊重して看護を実践する上での態度や援助方法について説明できる。 (①②④⑤)
- (6) 国際的視野に基づき国内外の保健・医療・福祉の現状について、グループで協働して情報収集し、プレゼンテーションを行うことができる。 (①②④⑤)
- (7) 国内外の保健・医療・福祉の現状に関するプレゼンテーションを踏まえ、国際看護の役割や課題について説明できる。 (①②④⑤)

3 学 習 内 容

授業の内容については、授業計画に示す。

4 評 価

評価項目	評価割合
定期試験成績	%
実習成績	%
レポート	50%
授業態度	10%
小テスト	%
その他（プレゼンテーション）	40%
合計	100%

（特記事項）

授業態度は、個人課題やグループワークに取り組む姿勢を評価する。

プレゼンテーションは、授業で配布する評価基準に沿って評価する。

5 教 育 担 当 者

科目責任者：長山 豊

教 授	長山 豊	（精神看護学）
准 教 授	浅野 きみ	（成人看護学）
准 教 授	中道 淳子	（老年看護学）
助 教	大嶋 舞香	（母性看護学・助産学）

6 教育担当者の実務経験

担当教員（長山、浅野、中道、大嶋）は看護師としての実務経験を有している。また、中道准教授は、独立行政法人国際協力機構（JICA）の日系研修事業・青年研修事業において教育活動の実務経験を有している。

7 教 科 書

森 淑江編：看護学テキスト NiCE 国際看護 国際社会の中で看護の力を発揮するために
改訂第2版、南江堂、2025

8 推 薦 参 考 書

竹下喜久子編：系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践 3 災害看護学・国際看護学、医学書院、2019

近藤真里：知って考えて実践する国際看護 第2版、医学書院、2018

9 準備学修に必要な時間又は具体的な学修内容

授業1コマにつき、事前学習・事後学習として計90分程度必要である。

- 1) 教科書や推薦参考書の該当箇所を読み、講義内容の理解を深めること。
- 2) 事前事後学修においてグループワークの課題に関する資料を各自収集し、授業でのグループワークを効率的に進められるようにすること。
- 3) グローバル・ヘルスや国際看護に関する最新の知見は、以下の情報源を参考にしてください。

公益社団法人 日本 WHO 協会 <https://japan-who.or.jp/>

外務省 国際保健 <https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/hoken.html>

外務省 ODA（政府開発援助）<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/index.html>

独立行政法人 国際協力機構 JICA <https://www.jica.go.jp/>

日本看護科学学会 異文化看護データベース

<https://www.jans.or.jp/committee/international/different-culture/>

一般社団法人 日本国際看護学会 <https://www.jsin.jp/index.html>

10 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

プレゼンテーション、レポートについては、講義や電子シラバスなどでフィードバックを行う。

11 履修上の注意事項

- 1) 積極的にディスカッションやグループワークに取り組んでください。
- 2) これまでの講義、演習、実習の体験を活かして課題に取り組んでください。
- 3) グループワークでは、ノートパソコンを使用して情報収集を行います。十分に充電されたノートパソコンを各自持参してください。

12 オフィスアワー等

質問は随時受け付けますが、事前にメールなどで連絡してください。

長山 naga-y@kanazawa-med.ac.jp

浅野 asanok@kanazawa-med.ac.jp

中道 junkon@kanazawa-med.ac.jp

大嶋 ma11@kanazawa-med.ac.jp

国際看護学

第4学年

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	レポート/小テスト等	講座・科目群名	教員名
前	1	4月06日(月)	4	講義	国際看護学とは、グローバル・ヘルスにおける健康問題	レポート	精神看護学, 成人看護学, 老年看護学	長山教授, 浅野准教授, 中道准教授
前	2	4月13日(月)	4	講義	世界の保健医療システムと看護職の課題、ユニバーサルヘルスカバレッジを踏まえた取り組み	レポート	精神看護学, 成人看護学, 老年看護学	長山教授, 浅野准教授, 中道准教授
前	3	4月20日(月)	4	講義	国内の外国人患者に対する医療提供体制の現状と課題、多様な文化・習慣・言語・価値観をもつ対象への看護の検討	レポート	精神看護学, 成人看護学, 老年看護学	長山教授, 浅野准教授, 中道准教授
前	4	4月24日(金)	5	講義	特別講師招聘講演 国際協力機関の役割、青年海外協力隊の活動の実際	グループワーク、ディスカッション、レポート	精神看護学, 成人看護学, 老年看護学, 母性看護学	特別講師, 長山教授, 浅野准教授, 中道准教授, 大嶋助教
前	5	5月25日(月)	4	講義	JICA日系研修事業・青年研修事業による教育活動／国内外の保健・医療・福祉の現状と課題、看護職の役割に関する情報収集1	グループワーク、ディスカッション、レポート	老年看護学, 精神看護学, 成人看護学, 母性看護学	中道准教授, 長山教授, 浅野准教授, 大嶋助教
前	6	6月02日(火)	3	講義	国内外の保健・医療・福祉の現状と課題、看護職の役割に関する情報収集2	グループワーク	精神看護学, 成人看護学, 老年看護学, 母性看護学	長山教授, 浅野准教授, 中道准教授, 大嶋助教
前	7	6月04日(木)	3	講義	国内外の保健・医療・福祉の現状と課題、看護職の役割に関するポスタープレゼンテーション1	プレゼンテーション、ディスカッション	精神看護学, 成人看護学, 老年看護学, 母性看護学	長山教授, 浅野准教授, 中道准教授, 大嶋助教
前	8(0.5)	6月04日(木)	4	講義	国内外の保健・医療・福祉の現状と課題、看護職の役割に関するポスタープレゼンテーション 2、まとめ	プレゼンテーション、ディスカッション、レポート	精神看護学, 成人看護学, 老年看護学, 母性看護学	長山教授, 浅野准教授, 中道准教授, 大嶋助教